

目 次

まえがき

略語一覧

南スーダン地図 (①国連版南スーダン、②アフリカ大陸、③近隣国)

南スーダン年表

I インTRODクシヨN

第1章 国際平和活動の理論と実践…………… [井上実佳] 2

はじめに 2

1. 本書の目的と問い 2

1.1. 国際平和活動とは 2

1.2. 先行研究の整理—なぜ今、国際平和活動におけるアクター間
協力なのか? 3

1.3. 本書の問題関心と研究の射程 5

1.4. 本書の特徴としての学際性 6

1.5. 想定される読者層 7

2. 国際平和活動 8

2.1. 国際平和活動の種類と冷戦期の展開 8

2.2. 冷戦後の国際平和活動—1990年代 8

2.3. 国際平和活動の見直しと地域機構の台頭 9

2.4. 国際平和活動の最前線—Action for Peacekeeping (A 4 P) 11

3. 複合的危機 11

4. 事例としての南スーダン 12

4.1. 国際平和活動の変遷の画期 13

4.2. 平和安全法制と日本のアフリカ PKO 参加 13

おわりに 14

第2章 南スーダンにおける国際平和活動

—移行期から独立後の国家建設期を中心に…… [川口智恵] 17

はじめに 17

1. スーダン内戦 17

1.1. 背景 17

1.2. 第2次内戦 19

2. 移行期における国際平和活動 20

2.1. 和平プロセス支援：外交および軍事的手段を使用して 21

2.2. 人道・復興支援 22

2.3. 国際平和活動の主体的な受け手に 24

3. 独立以降 26

おわりに：終わらない複合的危機 28

推奨図書

コラム1：人道支援における組織間調整—WFPの経験をもとに [忍足謙朗／湯浅拓也]

コラム2：南スーダンとPKO—アクター間協力の現場から [石川直己]

コラム3：日本外交からみた南スーダンと国際平和活動 [紀谷昌彦]

Ⅱ 国際平和活動の研究アプローチと事例分析

第3章 国際平和活動と法…………… [山本慎一] 42

はじめに 42

1. 国連憲章体制の下での国際平和活動 43

1.1. 国際平和活動の類型 43

1.2. 国際平和活動と国際法 45

2. 国際法学と国際平和活動 46

2.1. 国際法学と国際組織研究 47

2.2. 国際法学における国際平和活動の研究史 49

3. 日本の対南スーダン支援と「法制度的枠組み」 51

3.1. スーダンから南スーダンに至る「法制度的枠組み」 51

3.2. 日本の対南スーダン支援に関連した「法制度的枠組み」	53
3.3. 「法制度的枠組み」に着目する意義	54
おわりに―研究と実務における論点・課題	56
推奨図書	
●ディスカッションポイント	
確認問題	
発展問題	
第4章 制度からみた国際平和活動―政治学の観点から	
…………… [田中（坂部）有佳子]	62
はじめに	62
1. 国際平和活動を政治学から分析する意義	63
2. 国際平和活動に関わるアクター間協力と全政府アプローチの特徴	65
2.1. 国際平和活動に関わるアクターとアクター間協力とは何か？	65
2.2. なぜ全政府アプローチを採用するのか？	68
3. 何が全政府アプローチを促進するのか？どのような協力ができるのか？	71
4. 英国のケース：制度重視の全政府アプローチ戦略からみる 対南スーダン支援	74
4.1. 英国アクターの特定と制度の形成過程	75
5. 英国の支援と省庁間協力のための制度の適用	78
5.1. 防衛（国連平和活動）分野	79
5.2. 外交（政治）分野	79
5.3. 開発（人道・復興を含む）分野	80
5.4. 制度の適用によりどのような協力が実現したか	80
おわりに	82
推奨図書	
●ディスカッションポイント	
確認問題	
発展問題	

第5章 国際組織研究からみた国際平和活動…………… [井上実佳] 90

はじめに 90

1. 国際組織研究とは 91
 - 1.1. 国際組織とは何か 91
 - 1.2. アクターとフォーラム 93
2. 国際平和活動と国際組織 94
 - 2.1. 国際法学 94
 - 2.2. 国際政治学・国際関係論 95
 - 2.3. 回顧録・オーラルヒストリーと国際平和活動 96
3. 国際平和活動をめぐる研究の最前線 — 「国連研究」を超えて 98
 - 3.1. 歴史としての国際組織、国際平和活動 98
 - 3.2. 「国際社会の組織化」とディシプリンの架橋 99
 - 3.3. 国際組織同士の関係 100
 - 3.4. 国際組織の加盟国と国際平和活動 103
4. 南スーダンの複合的危機と国際組織 103
5. 南スーダンにおける国連の「統合アプローチ」とアクター間協力 104
 - 5.1. 国連の「統合アプローチ」の変遷とアクター間協力 104
 - 5.2. 南スーダンにおける国連の「統合アプローチ」とアクター間協力 107

おわりに— 国際平和活動をめぐるアクター間協力と国際組織 109

推奨図書

●ディスカッションポイント

確認問題

発展問題

第6章 国際平和活動と政策研究…………… [川口智恵] 116

はじめに 116

1. 政策研究とは何か 117
 - 1.1. 政策研究の基本的特徴 117
 - 1.2. 「政策」とは何か 118
2. 政策研究の枠組み 118

2.1. 政策の構成要素	118
2.2. 政策プロセス	119
2.2.1. 政策決定プロセスの研究	
2.2.2. 政策実施プロセスの研究	
3. 国際平和活動を政策研究からみる	121
3.1. 3つの政策プロセスが相互作用して生み出される国際平和活動	121
3.2. 国際平和活動の政策プロセスにおける構成要素	122
3.2.1. 目的	
3.2.2. 政策主体	
3.2.3. 受益者	
3.2.4. サービス、公共財、手段	
3.2.5. 財源	
3.3. 国際平和活動の政策プロセス	125
3.3.1. 国際平和活動の政策決定プロセス	
3.3.2. 国際平和活動の政策実施プロセス	
3.3.3. モニタリング・評価とフィードバック	
3.4. 政策研究による国際平和活動研究の可能性と限界	129
4. 対外政策としての国際平和活動の検討 — UNMISS の自衛隊部隊 派遣を契機とした ODA-PKO 連携を事例として	131
おわりに	134
推奨図書	
●ディスカッションポイント	
確認問題	
発展問題	
コラム 4：国際平和活動を研究する①	
計量分析と統計・データによる実証／統計分析	【久保田徳仁】
コラム 5：国際平和活動を研究する② 歴史研究と資料（史料）	【村上友章】

Ⅲ 結論部

第7章 国際平和活動の課題と展望 — 学際的研究を通じて …………… [井上・川口・田中(坂部)・山本] 144

はじめに	144
1. 国際平和活動と研究アプローチ	145
1.1. 法	145
1.2. 政治学(制度論)	146
1.3. 国際組織研究	147
1.4. 政策研究	147
1.5. 学際的研究の必要性	148
2. 国際平和活動の実践—アクター間協力	149
2.1. 国連の南スーダンにおける国際平和活動	149
2.2. 日本の南スーダンにおける国際平和活動	150
2.3. 英国の南スーダンにおける国際平和活動	152
3. 南スーダンの複合的危機と外部アクターの試練	153
3.1. 国連—現状に追いつかないスクラップ&ビルド	154
3.2. 日本—ODA-PKO 連携を超えて	155
3.3. 英国—最先端であるが故の課題?	156
おわりに — 今後の研究課題	158

あとがき

索引

編著者紹介

コラム執筆者紹介

図表一覧

- 図 1-1 本研究の射程
 - 図 1-2 国際組織、国家の協力関係
 - 図 1-3 PKO 要員数の推移
 - 図 1-4 国際平和活動の見取り図
 - 図 2-1 南スーダンにおける国際平和活動の見取り図
 - 図 4-1 支援国からみる複合的危機対応に関わるアクター間関係
 - 図 5-1 アフリカの地域経済共同体（RECs）
 - 図 5-2 欧州の地域機構
 - 図 5-3 人道アクターと UNMISS の関係
 - 図 6-1 政策プロセス
 - 図 6-2 3つの政策プロセスの結果としての国際平和活動
 - 図 6-3 国際平和活動における政策プロセスのイメージ
 - 図 7-1 本書で検討した国際平和活動と今後の課題
-
- 表 2-1 南スーダンが利用可能なプールファンドの一覧（2011年2月当時）
 - 表 2-2 移行期から独立後に至る対南スーダン支援の国際的支援枠組み
 - 表 4-1 包括的・全政府アプローチにおける政策立案・モニタリング・評価と実施
 - 表 4-2 英国の国際平和活動に関わる部局間協力のための制度
 - 表 5-1 国際組織の類型